

# 雪沢字又右エ衛門沢 地内を事業予定地に



生活環境影響調査をしている測定車

## 大館広域圏ごみ処理施設の整備計画



## 行政報告

市議会9月定例会が9月2日に招集され、小畑市長が行政報告を行いました。その中から、主なものの要旨をお知らせします。

大館周辺広域市町村圏組合のPFI法に基づくごみ処理施設の整備事業は、花岡町字観音下地内での事業化の断念後、川口字上鳴滝沢地内を新たな事業予定地として作業を進めてきました。しかし、事業化について慎重な対応や白紙撤回を求める声が上がリ、さらには、事業予定地の地権者の一部から、周辺地域の反対がある限り土地の使用について同意できない旨の表明がなされました。このことから、同予定地での事業化を断念しました。

その後、雪沢地区からごみ処理施設の誘致に関心があるとの声をいただいたことから、地域住民の類似施設の視察と事業説明会を開

催しました。説明会では事業についておおむね理解を得ることができ、地権者及び搬入道路の直近の町内会から、雪沢字又右エ門沢地内でごみ処理施設整備事業を行う

## 400人の新規雇用を確保 経済雇用情勢

大館商工会議所の発表によると、本年4月から6月までの売上景気動向指数、いわゆる売上DI値は、マイナス32・3ポイントと、1月から3月までの前期調査時より

16・7ポイント上向きに転じています。個人消費の冷え込みが引き続き指摘されているものの、景況感は幾分持ち直しています。

しかし、ハローワーク大館管内の有効求人倍率は、0・2倍台で推移していて、依然として厳しい経済雇用情勢が続いています。

そのため市では、庁内に経済雇用対策本部を設置し、関係機関と緊密な連携を図りながら、地域の実情に即した対策に全力を挙げて

ことについての同意書が広域組合に提出されました。それを受けて、広域組合では同地を事業予定地とすることに決定し、事業化に必要な諸調査を行っています。

取り組んできました。その結果、新規立地企業の株式会社ティーエムシー、丸祐運送株式会社、菱山製薬株式会社を中心に200人程度の新規雇用が創出されました。

また、株式会社マルヒデの市営二井田工業団地進出と、来春新規開業が予定されている大型小売店などにより、200人を超える雇用が新たに生み出される予定であり、合わせて400人の新規雇用を確保しました。より一層の雇用の拡大を図るため、現在も別の企業と交渉中です。

今後、雇用対策を最重要課題とし、引き続き雇用創出に全力を挙げて取り組んでいきます。

## 長雨により日照不足

## 農作物の生育状況

8月に入ってからの長雨と、平年の約20パーセントという極端な日照不足により、農作物の生育の遅れや病害虫の発生を心配しています。そのため、関係機関と協力し、被害を最小限にとどめるよう、

防除の徹底などの広報活動を実施してきました。

また、この長雨により、一部地域の林道、けい畔、水路などの農林業施設にも被害が発生しました。災害の助成対象となる個所は、現